

3. 施策実施の現状

基本方針に沿った19の施策について、現時点（令和6年度末）までの実績を考慮し、目標達成に向けた見通しを整理したものが下表です。

今後は、雨水浸透施設の設置、水循環施策の周知と市民活動の活発化などについて、一層の取組の強化を図る必要があります。目標値の設定が無いものについても、継続して実施していく必要があります。

施策名	施策の効果										目標達成に向けて
	浸水被害の少ない安全なまちづくり		清らかで豊かな流れの創出			渇水時や震災時に強い水利用		自然との共生	水循環を軸とした地域づくり		
	治水施設整備促進	分散的治水対策	良好な水質確保	平常時流量確保	湧水の保全再生	水利用合理化促進	節水型社会システム	生物の環境確保	水循環の認知度向上	市民連携と地域づくり	
河道改修	●	●									河道改修、河道整備を更に進める。
調節池の建設	●							●			海老川調節池の用地買収や暫定掘削等は進んでおり、今後も計画通り整備を進めていく。
下水道の整備			●								今後も計画通り整備を進めていく。
下水処理水の利用			●	●							水質が長期間に渡って著しく悪化した場合に、対応を検討する。
雨水貯留施設の設置 (公共施設、新規開発地等)		●									今後も宅地開発における設置指導や、学校・公共施設への設置等を促進する。
雨水浸透施設の設置 (公共施設、新規開発地、一般住宅等)		●	●	●	●						普及啓発活動等をあわせて実施し、設置を促進する。
合併処理浄化槽への転換			●								下水道の整備とあわせて、汚水処理人口普及率の向上を目指す。
公園・緑地等の整備と保全		●		●	●			●		●	公園・緑地等の整備と保全に努める。
環境用水容量の確保				●				●			地域住民のいこいの場の創出を目的に、水面や水際を維持管理する。
下水管の老朽化対策			●		●						下水管の老朽化対策に努める。
家庭での汚濁負荷削減			●								家庭での汚濁負荷削減対策を推進する。
雨水利用施設の設置						●	●				雨水利用施設の設置を更に進める。
再生水の利用						●	●				再生水の利用を更に進める。
家庭での節水						●	●				家庭での節水を更に進める。
多自然川づくり								●			良好な河川環境の保全・創出などのための河川管理を行う。
固有種の保護、外来種対策								●			河川などの維持管理や、新規開発、都市基盤整備において極力生態系に配慮する。
地下水対策			●	●	●						指導を継続し、地下水の適正利用を進める。
NPO及び市民団体に対する支援等		●	●		●	●	●	●		●	今後も情報提供や活動支援を進めていく。
水循環施策の周知と市民活動の活発化		●	●		●	●	●	●	●	●	インターネット等を活用した海老川流域の水循環施策の周知に関わるPR・啓発を積極的に実施し、市民も主体に含め、認知度向上を目指す。